

様式第8号（和解手続規程第8条関係）（表面）

あ っ せ ん 手 続 申 立 書

紛争当事者	申立人	氏名（名称） 住所（所在地）	労働太郎 〒〇〇〇-〇〇〇〇 福島県〇〇市〇〇〇〇 電話〇24（〇〇〇）〇〇〇〇
	被申立人	氏名（名称） 住所（所在地）	A 株式会社 代表取締役 福島 一郎 〒〇〇〇-〇〇〇〇 福島県〇〇市〇〇〇〇 電話〇24（〇〇〇）〇〇〇〇
		※申立人が労働している事業場の名称及び所在地	A 株式会社 B支店 〒〇〇〇-〇〇〇〇 福島県〇〇市〇〇〇〇 電話〇24（〇〇〇）〇〇〇〇
紛争の概要		<p>〇年〇月〇日入社し、長年銀行マンとして勤務し〇年〇月〇日、支店長職を最後に定年退職となった。会社は、〇年に近隣の金融機関が合併して現在の姿となったが、その際に出身母体による資金差別があり、その後も昇給・昇格面で個人的な差別が続いた結果、退職までに約〇万円の賃金を受け取ることができなかった。本社人事課長に対し、在行中の賃金差別と昇給・昇格面で個人的な差別により不当に低く抑えられたことで生じた未払い賃金相当額の金銭の支払を求めたが、聞き入れられなかった。</p> <p>訴訟は提起しておらず、また、他の救済機関も利用していない。会社には労働組合はない。</p>	
解決を求める事項 （理由も含む）		単に出身母体により昇給・昇格に差を付け、不当に賃金を低く抑えた銀行の行為は許し難く、よって、在職中に本来受けられるはずであった未払い賃金相当額の金銭の支払を求めるものである。	

令和〇年〇月〇日

申立人 氏名（名称） 労働 太郎 ①
 申立人代理人 ①

社労士会労働紛争解決センター福島センター長 殿

申立人が用意できる添付資料の例

労働契約書、就業規則、賃金規程、賃金支給明細書、退職金規程、解雇通告書、解雇理由書、離職票、配転辞令、降格辞令、同僚などの陳述書、傷病などの診断書、人事考課記録、会社から本人宛文書、本人のメモ書き、事実関係を時系列で箇条書きにしたもの、出勤簿、タイムカード、内定辞令、始末書、その他（ ）